

(参考1)

## 新たな科学技術基本計画の主要なポイント

### 基本理念

我が国の目指すべき国の姿として、  
「知の創造と活用により世界に貢献できる国」  
「国際競争力があり持続的発展ができる国」  
「安心・安全で質の高い生活のできる国」  
の3つを掲げ、その姿の実現に向けて、科学技術の振興を図っていく。

### 重要政策

- (1) 科学技術の重点化戦略(資源配分の重点化)  
基礎研究を推進するとともに、国家的・社会的課題に対応した研究開発の重点化を進める。  
重点化に当たっては、「ライフサイエンス」、「情報通信」、「環境」、「ナノテクノロジー・材料」の4つを、特に重点分野として位置づける。  
このほか、「エネルギー」、「社会基盤」等の分野についても重視して推進する。
- (2) 科学技術システムの改革  
研究者、特に若手が創造的な研究ができる環境を形成する観点から、競争的資金を倍増するとともに、任期付任用の定着等により、研究者の流動性を高める。  
また、公正で透明性の高い評価の徹底を図り、評価結果を資源配分等へ適切に反映させる。

### 総合科学技術会議の役割

我が国全体の総合的な科学技術政策推進の司令塔として、重点分野における研究開発の推進戦略の作成及び評価等を実施する。

なお、次期科学技術基本計画の期間中(平成13~17年度)の政府研究開発投資総額として24兆円を明示。  
〔現行計画期間(平成8~12年度)中の投資総額:17兆円〕

